



平成19年10月26日

各 位

会 社 名	日本電産株式会社
代表者名	代表取締役社長 永守 重信
取 引 所	東証一部・大証一部(6594) NYSE (NJ)
問合せ先	広報宣伝部長 田村 徳雄
T E L	(075) 935-6150

### 当社子会社5社の平成20年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社子会社である日本電産サンキョー株式会社(コード:7757 東証)、日本電産コパル株式会社(コード:7756 東証)、日本電産トーソク株式会社(コード:7728 東証)、日本サーボ株式会社(コード:6585 東証)、日本電産リード株式会社(コード:6833 大証)は、平成20年3月期通期業績予想を別紙の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

平成 19 年 10 月 26 日

各位

会 社 名 日本電産サンキョー株式会社  
 代 表 者 代表取締役社長 安川 員仁  
 コード番号 7757 (東証第一部)  
 所 在 地 長野県諏訪郡下諏訪町 5329  
 問 合 せ 先 経理部長 上原 敏典  
 電 話 (0266) 27-2999

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 19 年 4 月 25 日に公表した平成 20 年 3 月期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)の連結・単独業績予想を下記のとおり修正致しましたのでお知らせ致します。

1. 平成 20 年 3 月期 連結業績予想数値の修正 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回公表(A)	105,000	8,000	8,000	6,000
今回修正(B)	107,000	9,000	9,000	6,500
増減額(B-A)	2,000	1,000	1,000	500
増減率	1.9%	12.5%	12.5%	8.3%
前期実績	112,628	9,439	10,019	10,287

2. 平成 20 年 3 月期 単独業績予想数値の修正 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回公表(A)	66,000	3,000	4,000	3,000
今回修正(B)	70,000	4,000	5,000	4,000
増減額(B-A)	4,000	1,000	1,000	1,000
増減率	6.1%	33.3%	25.0%	33.3%
前期実績	78,016	7,108	8,301	7,640

3. 修正の理由

【連結】

売上高・営業利益の修正については、平成 19 年度中間期の連結業績において、ステッピングモータを中心に増収となったこと、電子部品関連事業製品の収益改善が進んだことによるものであります。又、経常利益の修正は営業利益の修正に伴うものであります。

【単独】

単独業績の修正については、連結業績の修正事項による単独への影響を反映したものであります。

以上

平成 19 年 10 月 26 日

各 位

会社名 日本電産コパル株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 井澤 茂  
 (コード番号 7756 東証第1部)  
 問合せ先 常務取締役管理部門統括 米田 敬智  
 TEL 03-3965-1111 (大代表)

当社の親会社 日本電産株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 永守 重信  
 (コード番号 6594 東証・大証第1部)

### 平成 20 年 3 月期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 4 月 25 日の決算発表時に公表した平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 20 年 3 月期の通期連結業績予想の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （平成 19 年 4 月 25 日発表）	百万円 86,000	百万円 6,500	百万円 6,600	百万円 4,000	円 銭 63.63
今回修正予想（B）	87,000	7,000	7,200	4,800	76.36
増減額（B-A）	1,000	500	600	800	12.73
増減率（%）	1.2	7.7	9.1	20.0	20.0
（ご参考） 前期実績（平成 19 年 3 月期）	84,012	5,827	6,076	4,304	68.48

#### 修正理由（連結）

当中間期の連結業績予想につきましては、本年 10 月 22 日付で上方修正の発表をいたしました。その後、通期の業績につきましても慎重に検討してまいりましたが、先行きが依然不透明ですので、概ね中間期業績修正分を反映した形で前回公表した連結の売上高、営業利益、経常利益、当期純利益の通期業績予想を上方修正いたします。

2. 平成 20 年 3 月期の通期個別業績予想の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （平成 19 年 4 月 25 日発表）	百万円 73,000	百万円 3,200	百万円 3,800	百万円 2,300	円 銭 36.59
今回修正予想（B）	73,000	3,400	3,800	2,500	39.77
増減額（B－A）	—	200	—	200	3.18
増減率（%）	—	6.3	—	8.7	8.7
（ご参考） 前期実績（平成 19 年 3 月期）	71,468	4,056	4,636	3,086	49.10

修正理由（個別）

当中間期の個別業績予想につきましては、本年 10 月 22 日付で上方修正の発表をいたしました。その後、通期の業績につきましても慎重に検討してまいりましたが、先行きが依然不透明ですので、概ね中間期業績修正分を反映した形で前回公表した営業利益、当期純利益の通期業績予想を上方修正いたします。

（注）この資料に記載しております売上高及び利益の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであります。従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業業務運営における状況変化等により、実際の売上高及び利益は当該予想と異なる結果になる可能性があります。

以 上

平成19年10月26日

各位

会社名 日本電産トーソク株式会社  
代表者名 代表取締役社長 竹松 和男  
(コード番号 : 7728 東証第一部)  
問合せ先 経理部長 丹野 光好  
(TEL 046-252-3112)

当社の親会社 日本電産株式会社  
代表者名 代表取締役社長 永守 重信  
(コード番号 : 6594 東証・大証第一部)

## 平成20年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年4月25日の決算発表時に公表しました平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成20年3月期 通期業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

##### (1) 連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,500	1,800	1,800	950	49.37
今回修正予想(B)	24,000	2,100	2,100	1,150	59.77
増減額(B-A)	1,500	300	300	200	10.4
増減率(%)	6.7	16.7	16.7	21.1	21.1
(ご参考) 前期実績 (平成19年3月期)	23,430	1,809	1,953	1,182	61.48

##### (2) 個別業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,500	1,200	1,200	700	36.38
今回修正予想(B)	24,000	1,500	1,500	900	46.78
増減額(B-A)	1,500	300	300	200	10.4
増減率(%)	6.7	25.0	25.0	28.6	28.6
(ご参考) 前期実績 (平成19年3月期)	22,667	1,430	1,508	869	45.17

#### 2. 修正の理由

通期の連結業績は、自動車部品事業・半導体製造装置事業・計測機器事業ともに受注が好転してきており、売上高は24,000百万円と前回予想値を上回る見込みです。利益面におきましては、売上増に加え原価低減活動も寄与し、営業利益、経常利益ともに2,100百万円、当期純利益は1,150百万円と前回予想値を上回る見通しとなりましたので修正いたします。通期の個別業績は、連結と同様の理由により修正しております。

注) この資料に記載しております売上高及び利益の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものです。従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の業務運営における状況変化等により、実際の売上高及び利益は当該予想と異なる結果になる可能性があります。

以上

各 位

平成19年10月26日  
会社名 日本サーボ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 田島 卓也  
(コード番号 6585 東証第二部)  
問合せ先 経理部長 坂本 博  
TEL (0277)53-8817

当社の親会社 日本電産株式会社  
代表者名 代表取締役社長 永守 重信  
(コード番号 6594 東証・大証第一部)

## 平成20年3月期業績予想の修正に関するお知らせ

日本サーボ株式会社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり平成20年3月期の連結及び個別業績の予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)を下記の通り修正いたしましたのでお知らせします。

### 記

#### 1. 平成20年3月期業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

##### (1)連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	31,000	0	0	0
今回発表予想(B)	32,000	1,000	900	850
増減額(B-A)	1,000	1,000	900	850
増減率(%)	3.2	-	-	-
(ご参考) 前期実績(平成19年3月期)	32,177	▲560	▲764	▲1,451

(金額の単位:百万円、%)

##### (2)個別業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	29,000	▲100	▲150	550
今回発表予想(B)	29,000	▲200	▲250	500
増減額(B-A)	0	▲100	▲100	▲50
増減率(%)	0.0	-	-	▲9.1
(ご参考) 前期実績(平成19年3月期)	29,821	▲453	▲618	▲1,252

(金額の単位:百万円、%)

#### 2. 連結業績予想上方修正の主な理由

売上高は、情報通信分野に使用される高信頼性ファンモータや家庭電器分野に使用されるアイスメーカー等が好調に推移しておりますので上方修正いたします。

損益面は、日本電産株式会社の経営手法導入の更なる加速により、会社の意識改革が大きく進むものと見込んでいます。又、製造拠点である海外事業所を中心に生産体制の強化と共に原価改善が加速され増収・増益体質の構築も順調であることから上方修正いたします。

#### 3. 個別業績予想修正の主な理由

損益について、第2四半期(8月)において発生しました、急激な円高による為替評価損(リスク)等を織込み変更いたしました。

(注)上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり実際の業績は、さまざまな要因により見通しと異なる結果となる場合があります。

以 上

平成 19 年 10 月 26 日

各 位

会 社 名 日本電産リード株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 戒田理夫  
 (コード 6833 大証第 2 部)  
 問合せ先 経 理 部 長 松浦正明  
 (TEL. 075 - 315 - 8001)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 4 月 25 日の決算発表時に公表した平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1 平成 20 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	8,300	1,650	1,630	1,000
今 回 修 正 予 想 (B)	8,800	1,750	1,750	1,050
増 減 額 (B-A)	500	100	120	50
増 減 率 (%)	6.0%	6.1%	7.4%	5.0%
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 9 月期)	7,716	1,549	1,566	938

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 150 円 00 銭

#### 2 平成 20 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	7,600	1,350	1,330	750
今 回 修 正 予 想 (B)	8,100	1,350	1,330	750
増 減 額 (B-A)	500	0	0	0
増 減 率 (%)	6.6%	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 9 月期)	7,042	1,238	1,257	723

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 107 円 14 銭

#### 3 修正の理由

携帯電話・デジタルカメラ・携帯音楽プレーヤーなどの各種携帯機器、およびパソコン、薄型テレビ、家庭用ゲーム機などの量的好調に支えられ、プリント基板・半導体パッケージといった精密電子基板業界での設備投資は堅調に推移しております。

益々細密なものとなるこれら電子基板の検査市場に対して、新たな検査技術の開発に取り組み、タイムリーに新規製品をご提供することによる市場拡大・売上確保が見込めること、生産合理化・各種コストダウンに継続的に取り組み、海外子会社での現地生産による利益確保が今後も堅調に期待できることなどにより売上、利益ともに前回発表予想を上回る見通しとなりました。

#### <業績の予想に関する注意事項>

本資料に記載の予想数値は、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおりますので、実際の業績等が予想と異なる場合があることをご承知おき下さい。

以 上